神静文芸

120 箱根塔ノ沢
新玉の湯　女性入浴図

絵葉書の風景

県西・人物伝 箱根編 20

《成島柳北（なるしまりゅうほく）》

天保8年（1837）～明治17年（1884）

成島柳北は、武蔵国浅草御厩河岸（現東京都台東区蔵前）の松本家の3男として生まれた。第7代目奥儒者の成島稼堂の養子となり、第8代目奥儒者を受け継ぎ成島柳北と名乗った。成島家は、将軍侍講という役職から「徳川実紀」などの編纂を続けていた。明治5年（1872）欧州視察団随行員として欧米を巡っている。明治の文学者・ジャーナリスト。

明治11年9月2日に箱根湯本に一泊、3日塔ノ沢、4日～5日は宮ノ下に泊るが、宮ノ下の奈良屋を足場に、底倉、木賀、堂ヶ島などの温泉にまわっている。

明治12年9月29日に湯本の福住萬翠楼に来訪し、こう詠んでいる。

箱根山
ふたゝひ
三たひ
来てみれと
あかぬは
君の宿にそ
ありける

10月8日にも箱根に来訪し、塔之沢の玉の湯に泊まる。翌日、湯本の福住（萬翠楼）に泊まる。『柳北遺稿』上所収「瀧纓日記」」を書いている。

成島柳北の作品に幕末の遊郭を描いている「柳橋新誌」（漢文随筆）がある。

柳橋新誌（漢文随筆）

HAKONE「学芸」voice

関所の役人ってどんな人

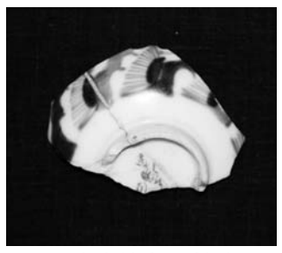
文化財係主任学芸員　野坂優介

関所全景

江戸時代、東海道屈指の難所と知られた東海道の箱根八里。その中でも、芦ノ湖畔の箱根関所は特に旅人に恐れられていました。江戸幕府は全国に50箇所以上の関所を置きましたが、その中でも箱根関所は同じ東海道の新居、中山道の碓氷、木曽福島と並んで規模も大きく、特に重要視されていました。箱根関所では、俗に言う「入り鉄砲に出女」のうち出女に特化して取り締まりが行われていたので、女性の旅人にとって箱根関所は特に恐ろしい場所だったようです。また、関所には旅人に見せつけるように、槍や鉄砲などの武器や、捕り物で使う三つ道具が置かれていて、旅人の恐怖心をさらに煽っていました。

では、そのように旅人に恐れられた箱根関所にいた役人たちはやはりコワい人ちだったのでしょうか。関所には、最高責任者の伴頭（ばんがしら）以下、番士、足軽、中間（ちゅうげん）、定番人（じょうばんにん）、人見女など通常20～23人の役人が勤務していました。その大部分は小田原城下に住み、1カ月間箱根に単身赴任してきていて、食事、入浴、就寝など全て関所の建物の中でしていました。その際、身の回りの品は、自前で用意したものを使っていたようです。関所の復元整備に先立って行われた発掘調査では、役人たちが使った食器類がたくさん見つかっています。それらを見てみると、大きさや形、描かれた模様などがバラバラで、それぞれの自宅から持ってきたということを裏付けています。また、その大半は一般庶民が使っていたのと同様の、国内の産地で大量生産された陶磁器類が占めており、中には、節約のためかお気に入りだったからなのかお気に入りだったからなのか、割れてしまった茶碗を描かれた関所の役人も、暮らしぶりは庶民的で質素だったようで、なんだか人間味を感じるのはわたしだけでしょうか。

関所出土磁器



関所出土焼き継ぎ磁器

のさか・ゆうすけ　箱根町教育委員会生涯学習課文化財係主任学芸員。

北原白秋と本居長世

竹村　忠孝

大正8年（1920）11月27日、東京の有楽座で本居長世と宮城道雄が作品を発表した時に、尺八演奏をした吉田晴風が、「新日本音楽大演奏会」と命名。新日本音楽運動とは、邦楽の伝統に根ざしながら洋楽の要素も取り入れて、種目や流派の枠をこえた新しい邦楽を目指す運動であった。その三人の音楽家である「宮城道雄」「本居長世」「吉田晴風」の軌跡を辿りながら、三人の想いや志を演奏とともに広く伝えていこうと企画が、7月1日「祈り」～箏・尺八・童謡～　演奏会である。

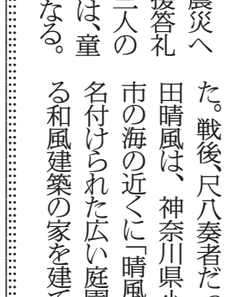
ちなみに、小田原在住時に作った北原白秋の詩に、その三人の一人である本居長世が作曲した童謡があり、7月1日の演奏会では何曲か演奏される。

「わらび」　小田原「木兎の家」（みみづくの家）から眺めた聖岳の野焼きの風景を書いた白秋

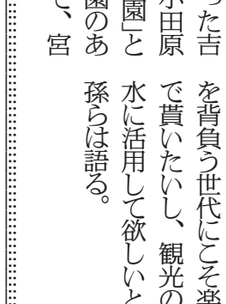
作詩・北原白秋
作曲・本居長世

蕨、わらび、
いついつ萌える。
山焼き、野焼き
まだ火は赤い
むじなの嫁は
いついつ來やる。
山焼き、野焼き、
夜は火が赤い。

「雨のあと」　風祭・荻窪



吉田晴風（1890～1950）



宮城道雄（1894～1956）

＊日時：2017年7月1日（土）16時30分開場～20時（6月30日は吉田晴風の命日、7月1日は童謡の日）
＊料金：8000円（懐石料理付き）※お飲み物は別途、個別会計
＊後援：小田原市
＊協賛：十字町ヒストリア、お城南通り商店会
＊申込：湘南リビング新聞社　0466-27-7411（茅ヶ崎市）
＊場所：だるま料理店（小田原駅東口より徒歩7分）

宮城道雄（琴の大家）、吉田晴風（尺八奏者）、本居長世（童謡作曲家）の音楽家の曾孫吉田長生が尺八、東京都立本所高校箏曲講師の山水美樹が箏、小田原少年少女合唱隊隊員が童謡、を本居長世曾孫菱倉宣子の進行で、邦楽と洋楽の融合の演奏会を開催する。

へ散策したときに書いた白秋童謡

作詩・北原白秋
作曲・本居長世

萌黄のかさは
かたわれ月夜
ほうほうほたる
しめれよ一つ
笹葉の露は
小雨ののこり
ほうほうほたる
あがれよ二つ
水車の音も
ことことなるに
ほうほうほたる
すうすとわたれ
螢の籠も
あをあをぬれた
ほうほうほうよ
ほうほうほうよ

たけむら・ただたか　1954年、小田原市生まれ。法政大学大学院国際日本学インスティテュート政治学専攻修了。学術修士、環境学士。政治史・音楽史研究家。日本漫画家協会会員。

宮前俳句会

＊暑い日は家でゲームで遊んでる
（小学二六年　猪俣　優人）
＊ばら繚乱（りょうらん）絵皿にとかす色は紅　（渋谷　葉士）
＊旧友（ともだち）集ふここがふるさと夏薊（なつあざみ）　（福本　悦子）
＊開成のあじさい祭始まれり　（矢崎　清子）
＊丹沢の植田に風が吹き渡り　（中村　勉）
＊父の日や亡夫（つま）の好物仏壇に　（大野とも子）
＊水辺には水辺の花や夏はじめ　（西村　亜紀）

【川柳】
＊釣り人はみな高齢者ばかりなり　（足柄　太郎）

TOHO CINEMAS
今週の映画情報
TOHOシネマズ小田原

毎月1日は 1st. Day
お好きな映画が 1100円 で、ご鑑賞いただけます。

毎月14日は TOHOシネマズデー
お好きな映画が 1100円 で、ご鑑賞いただけます。
3Dの作品は、1500円でご鑑賞いただけます。

毎週水曜日は レディースデイ！
女性のお客様は、お好きな映画が 1100円 で、ご鑑賞いただけます。
3Dの作品は、1500円でご鑑賞いただけます。

◆アクセス情報
【住所】小田原市中里313-12
ダイナシティウォーク内
【電話】　0465-46-0550
【駐車場】無料駐車場 約4,000台
【料金案内】
一般　1,700円
大学生 1,500円
※学生証をご提示ください。
高/中/小学生 1,000円
幼児(3才～) 900円
※一部作品において2才より幼児料金をいただく場合がございます。
シニア(60歳以上の方) 1,100円
※年齢を証明できるものをご提示ください。
夫婦50割引　2,200円 （どちらかが50歳以上のご夫婦お2人で、同一日時・同作品をご鑑賞の場合）
※年齢確認のための証明できるもの（運転免許証等）をご提示ください。
レディースデイ
毎週水曜日は、女性1,100円！
レイトショー
夜8時以降の入場料は1,300円！
シネマイレージデイ
毎週火曜日・会員限定1,400円！
ファーストデイ
毎月1日は1,100円！
TOHOシネマズデイ
毎月14日は1,100円！